

# 1992年 大会記録

## 国際

◇ヤリギン国際大会=男子フリースタイル（1月11～12日、ロシア・クラスノヤルスク）

ク）

▼48kg級 田村茂一（青森・青森商高）=三失、▼68kg級 赤石光生（ユニマツト）=4位

◇ヤクーツ国際大会=男子フリースタイル（1月16日、ロシア・ヤクーツ）

▼48kg級 田村茂一（青森・青森商高）=3位

◇ミシガン・オープン・トーナメント=男子フリースタイル（2月2日、米国・カラマズー）

ズー）

▼48kg級 平野孝喜（京樽）=優勝、工藤博（山梨学院大）=2位、▼57kg級 奥山恵二（山形・山形南高教）=2位、石嶋勇次（山梨学院大）=四失、阿部三子郎（ペンシルベニア州立大）=6位、▼62kg級 安達巧（日体大助）=優勝、▼74kg級 角崎朋博（山形・東根工高教）=優勝、原喜彦（新潟・新潟北高教）=3位、小野瀬哲也（山梨学院大）=三失

◇マラル・カップ=男子グレコローマン（2月9～10日、スウェーデン・）

▼48kg級 大橋正教（ユニマツト）=5位、浅川享助（山梨学院大）=一失、▼57kg級 藤岡道三（奈良県体協）=6位、▼62kg級 西口茂樹（日体大大学院）=二失、栗本秀樹（日体大）=一失

◇アジア選手権（4月7～10日、イラン・テヘラン）

《男子フリースタイル》▼48kg級 入江隆（自衛隊）=6位、▼52kg級 清水一成（山形・上山農高教）=4位、▼57kg級 奥山恵二（山形・山形南高教）=5位、▼62kg級 安達巧（日体大助）=二失、▼68kg級 赤石光生（ユニマツト）=4位、▼74kg級 原喜彦（新潟・新潟北高教）=2位、▼82kg級 伊藤敦（京都府体協）=3位、▼90kg級 太田章（早大教）=3位、▼100kg級 中西学（新日本プロレス職）=3位、▼130kg級 本田多聞（自衛隊）=3位

《男子グレコローマン》▼48kg級 大橋正教（ユニマツト）=優勝、▼52kg級 中森昭平（警視庁）=7位、▼57kg級=出場なし、▼62kg級=出場なし、▼68kg級 森巧（自衛

隊) = 2位、▼74kg級 湯浅邦茂(甲府養護学教) = 6位、▼82kg級 永田裕志(日体大助手) = 4位、▼90kg級 森山泰年(自衛隊) = 3位、▼100kg級 野々村孝(香川県スポーツ振興財団) = 2位、▼130kg級 鈴木賢一(読売千葉広告社) = 2位

**◇モスクワ女子国際大会(5月15~16日、ロシア・モスクワ)**

▼44kg級 吉村祥子(スポーツ東急) = 優勝、▼53kg級 福原邦子(京樽) = 3位、▼57kg級 飯島晶子(京樽) = 優勝、▼61kg級 星川君枝(ユニマツト) = 2位、▼65kg級 清水真理子(群馬・富岡東高) = 5位、▼70kg級 浦野弥生(京樽) = 優勝

**◇コンコード国際大会=男子グレコローマン(5月23~24日、米国・コンコード)**

▼57kg級 花原大介(警視庁) = 一失、▼68kg級 森巧(自衛隊) = 4位、▼100kg級 野々村孝(香川県スポーツ振興財団) = 4位

**◇カナダ・カップ=男子フリースタイル(6月30日、カナダ・ハミルトン)**

▼48kg級 佐伯豊(日大) = 4位、山口譲司(国士舘大) = 5位、▼52kg級 小山田秀晴(山梨学院大) = 5位、窪木浩(明大) = 二失、▼57kg級 入江格(国士舘大) = 二失、小倉偉延(専大) = 二失、▼62kg級 中石義洋(日体大) = 二失、毎熊潤一郎(中大) = 二失、▼68kg級 小柴健二(日体大) = 4位、赤石光輝(日大) = 9位、▼74kg級 荻田剛志(早大) = 2位、▼82kg級 小野瀬哲也(山梨学院大) = 8位、▼90kg級 藤田和之(日大) = 3位、▼100kg級 梅田誠幸(東海大) = 6位、▼130kg級 浜上稔(日体大) = 4位

**◇世界女子選手権(9月4~5日、フランス・ビエルバンス)**

▼44kg級 吉村祥子(スポーツ東急) = 2位、▼47kg級 上林美穂(羽島市連盟) = 3位、▼50kg級 遠藤美子(東洋大職) = 2位、▼53kg級 川崎明美(自衛隊) = 2位、▼57kg級 坂本涼子(リプレ中京女大) = 優勝、▼61kg級 星川君枝(ユニマツト) = 2位、▼65kg級 清水真理子(群馬・富岡東高) = 5位、▼70kg級 浦野弥生(京樽) = 2位、▼75kg級 船越光子(栃木・壬生高) = 2位

**◇世界ジュニア選手権(6月27~7月2日、コロンビア・カリ)**

《男子フリースタイル》▼46kg級 長尾勇氣(宮崎・宮崎工) = 二失、▼50kg級 三榎邦明(茨城・霞ヶ浦高) = 三失、▼54kg級 寺尾将幸(京北高) = 三失、▼58kg級 仲上貴光(滋賀・甲西高) = 二失、▼63kg級 天谷満博(早大) = 2位、▼68kg級 北島一樹(茨城・霞ヶ浦高) = 9位、▼74kg級 山口幸信(茨城・霞ヶ浦) = 三失、▼81kg級 小室誠一(茨城・霞ヶ浦高) = 9位、▼88kg級 草間正人(茨城・霞ヶ浦) = 二失、▼115kg級 岡部孝士(東京・東京工高) = 9位

《男子グレコローマン》▼46kg級＝出場なし、▼50kg級 工藤慎也（山梨・韮崎工高）＝四失、▼54kg級 日浦博幸（徳島・穴吹高）＝二失、▼58kg級 渡部博文（大阪・泉尾工高）＝二失、▼63kg級 大西一也（徳島・穴吹高）＝9位、▼68kg級 高橋謙治（群馬・関東学園高）＝6位、▼74kg級 堀越秀人（東海大）＝二失、▼81kg級 小浦宏之（専大）＝二失、▼88kg級 大園悟志（愛知・星城）＝二失、▼115kg級 坂下昇（福井・高浜高）＝二失

**◇バルセロナ五輪（7月25日～8月7日、スペイン・バルセロナ）**

《男子フリースタイル》▼52kg級 佐藤満（日本体育会）＝6位、▼57kg級 奥山恵二（山形・山形南高教）＝三失、▼62kg級 安達巧（日体大助）＝二失、▼68kg級 赤石光生（ユニマット）＝3位、▼74kg級 原喜彦（新潟・新潟北高教）＝四失、▼82kg級 伊藤敦（京都府体協）＝二失、▼90kg級 太田章（早大教）＝三失、▼100kg級 中西学（新日本プロレス職）＝二失、▼130kg級 本田多聞（自衛隊）＝二失

《男子グレコローマン》▼48kg級 大橋正教（ユニマット）＝9位、▼57kg級 花原大介（警視庁）＝二失、▼62kg級 西口茂樹（日体大大学院）＝三失、▼68kg級 森巧（自衛隊）＝二失、▼90kg級 森山泰年（自衛隊）＝二失、▼100kg級 野々村孝（香川県スポーツ振興財団）＝二失、▼130kg級 鈴木賢一（読売千葉広告社）＝二失

**◇世界カデット選手権（8月13～16日、トルコ・イスタンブール）**

《男子フリースタイル》▼43kg級 上林浩二（愛知・西尾中）＝三失、▼47kg級 太田亮介（静岡・焼津港中）＝9位、▼51kg級 吉田征樹（茨城・愛宕中）＝二失、▼55kg級 野入明（千葉・野田一中）＝二失、▼60kg級 大橋理秀（大阪・吹田一中）＝四失、▼65kg級 美山哲成（茨城・内原中）＝二失、▼70kg級 浜崎哲治（島根・松江二中）＝10位、▼76kg級 山川浩一（群馬・館林三中）＝二失、▼83kg級 伊調寿行（青森・八戸長者中）＝二失、▼95kg級 高倉洋一郎（群馬・尾島）＝二失

《男子グレコローマン》▼43kg級 奥田昌規（千葉・野田一中）＝二失、▼47kg級＝出場なし、▼51kg級 中川洋（岡山・倉敷玉島東中）＝二失、▼55kg級 石嶋健太郎（茨城・愛宕中）＝二失、▼60kg級 兵藤健司（群馬・館林二中）＝二失、▼65kg級＝出場なし、▼70kg級＝出場なし、▼76kg級＝出場なし、▼83kg級 高田浩也（茨城・鉾田南中）＝二失、▼95kg級＝出場なし

**◇ベルギー国際大会（8月21～22日、ベルギー・バアーゼルクルーバック）**

《男子フリースタイル》▼57kg級 角地山豊（警視庁）＝優勝、▼62kg級 藤田隆和（徳

島県教委) = 優勝、▼68kg 級 勝龍三郎 (香川県スポーツ振興財団) = 優勝、吉本収 (ヤマサン) = 2位、▼74kg 級 太田拓弥 (日体大助) = 2位、▼90kg 級 大村達哉 (長崎・島原高教) = 4位

《男子グレコローマン》▼52kg 級 清水光二 (山形県競技力向上対策本部) = 優勝、▼62kg 級 古屋博也 (内藤ハウス) = 4位、▼68kg 級 今村浩之 (山形中央農協会) = 2位、▼74kg 級 植村久弥 (三重・鳥羽高教) = 2位、▼82kg 級 向井孝博 (ヤマサン) = 優勝、▼130kg 級 奈良英則 (警視庁) = 6位

## 国内

### ◇全日本選手権 (3月10～12日、東京・純心女高)

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg 級 入江隆 (自衛隊)、▼52kg 級 佐藤満 (日本体育会)、▼57kg 級 奥山恵二 (山形・山形南高教)、▼62kg 級 安達巧 (日体大助)、▼68kg 級 赤石光生 (ユニマツト)、▼74kg 級 原喜彦 (新潟・新潟北高教)、▼82kg 級 伊藤敦 (京都府体協)、▼90kg 級 太田章 (早大教)、▼100kg 級 中西学 (新日本プロレス職)、▼130kg 級 本田多聞 (自衛隊)

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg 級 大橋正教 (ユニマツト)、▼52kg 級 中森昭平 (警視庁)、▼57kg 級 花原大介 (警視庁)、▼62kg 級 西口茂樹 (日体大大学院)、▼68kg 級 森巧 (自衛隊)、▼74kg 級 湯浅邦茂 (山梨・甲府養護学教)、▼82kg 級 永田裕志 (日体大助手)、▼90kg 級 森山泰年 (自衛隊)、▼100kg 級 野々村孝 (香川県スポーツ振興財団)、▼130kg 級 鈴木賢一 (読売千葉広告社)

### ◇全国高校選抜大会 (3月29～30日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦 (5年連続5度目)、[2] 秋田・秋田商、[3] 岐阜・岐阜工、鹿児島・鹿児島商工

《個人優勝》▼46kg 級 本間洋志 (茨城・土浦日大)、▼50kg 級 南大士郎 (茨城・霞ヶ浦)、▼54kg 級 栗田弘明 (栃木・足利工大付)、▼58kg 級 杉田健吾 (秋田・秋田商)、▼63kg 級 谷山祐治 (鹿児島・鹿児島商工)、▼68kg 級 織山昭仁 (秋田・秋田商)、▼74kg 級 高橋善孝 (青森・八戸工大一)、▼115kg 級 篠崎正二 (茨城・霞ヶ浦)

### ◇全日本ジュニア選手権 (4月2～4日、栃木・足利市総合体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼46kg 級 長尾勇氣 (宮崎・宮崎工)、▼50kg 級 三榎邦明 (茨城・霞ヶ浦高)、▼54kg 級 寺尾将幸 (京北高)、▼58kg 級 仲上貴光 (滋賀・

甲西高)、▼63kg級 天谷満博(早大)、▼68kg級 北島一樹(茨城・霞ヶ浦高)、▼74kg級 山口幸信(茨城・霞ヶ浦)、▼81kg級 小室誠一(茨城・霞ヶ浦高)、▼88kg級 草間正人(茨城・霞ヶ浦)、▼115kg級 岡部孝士(東京・東京工高)

《男子グレコローマン優勝者》▼46kg級 中村吉元(日体大)、▼50kg級 工藤慎也(山梨・韮崎工高)、▼54kg級 日浦博幸(徳島・穴吹高)、▼58kg級 渡部博文(大阪・泉尾工高)、▼63kg級 大西一也(徳島・穴吹高)、▼68kg級 高橋謙治(群馬・関東学園高)、▼74kg級 堀越秀人(東海大)、▼81kg級 小浦宏之(専大)、▼88kg級 大園悟志(愛知・星城)、▼115kg級 室谷正憲(和歌山・和歌山東)

#### ◇全日本エスポアール選手権(4月18~19日、日体大)

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 佐伯豊(日大)、▼52kg級 田村茂一(日大)、▼57kg級 木沢美幸(東洋大)、▼62kg級 黒田安秀(日体大)、▼68kg級 小柴健二(日体大)、▼74kg級 木村洋介(専大)、▼82kg級 福田雅一(日大)、▼90kg級 ルイス・バレラ(日大)、▼100kg級 権瓶広光(専大)、▼130kg級 滝口徹(国士舘大)

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 中村吉元(日体大)、▼52kg級 狩野達治(東洋大)、▼57kg級 西島隆(日体大)、▼62kg級 坂上桂一(日体大)、▼68kg級 長和徹(日体大)、▼74kg級 有賀浩樹(日体大)、▼82kg級 高木章夫(日体大)、▼90kg級 吉田幸司(日体大)、▼100kg級 権瓶広光(専大)、▼130kg級 高柳雄志(中大)

#### ◇東日本学生リーグ戦(5月14・15・20~22日、東京・駒沢体育館)

《順位》[1] 日体大(14年連続16度目)、[2] 国士大、[3] 日大、[4] 山梨学院大、[5] 中大、[6] 専大、[7] 大東大、[8] 東洋大

#### ◇西日本学生春季リーグ戦(5月30~31日、大阪・大阪府立体育会館第2体育館)

《順位》[1] 近大(18季ぶり8度目)、[2] 福岡大、[3] 徳山大、[4] 桃山学院大、[5] 南九州大、[6] 同志社大

#### ◇東日本学生春季新人戦(6月5~7日、東京・青少年総合センター)

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 佐伯豊(日大)、▼52kg級 石田隆(日体大)、▼57kg級 佐藤公一(日体大)、▼62kg級 高橋淳(日大)、▼68kg級 勝田雅喜(日体大)、▼74kg級 木村洋介(専大)、▼82kg級 ルイス・バレラ(日大)、▼90kg級 吉田幸司(日体大)、▼100kg級 小野瀬哲也(山梨学院大)、▼130kg級 滝口徹(国士舘大)

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 中村吉元（日体大）、▼52kg級 勝目力也（山梨学院大）、▼57kg級 後藤誠一（日体大）、▼62kg級 高橋明善（日体大）、▼68kg級 原敬（日体大）、▼74kg級 有賀浩樹（日体大）、▼82kg級 菅原文太（大東大）、▼90kg級 権瓶広光（専大）、▼100kg級 水倉元（専大）、▼130kg級 大川祐一（拓大）

◇西日本学生新人戦（6月27～28日、大阪・堺市初芝体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 福田正樹（福岡大）、▼52kg級 酒井徹治（福岡大）、▼57kg級 山中紅斗（福岡大）、▼62kg級 中村富彦（近大）、▼68kg級 中野英樹（福岡大）、▼74kg級 上田智路（福岡大）、▼82kg級 馬場博隆（福岡大）、▼90kg級 楠健二（徳山大）、▼130kg級 佐藤京夏（桃山学院大）

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 平野健司（近大）、▼52kg級 原田圭一（近大）、▼57kg級 山中紅斗（福岡大）、▼62kg級 中村富彦（近大）、▼68kg級 永井良宣（桃山学院大）、▼74kg級 上田智路（福岡大）、▼82kg級 竹内一政（南九州大）、▼90kg級 桜井竹秀（近大）、▼130kg級 元平順也（近大）

◇全日本女子選手権（5月31日、東京・青少年総合センター）

《優勝者》▼44kg級 吉村祥子（スポーツ東急）、▼47kg級 上林美穂（羽島市連盟）、▼50kg級 パトリシア・サンダース（米国）、▼53kg級 川崎明美（自衛隊）、▼57kg級 坂本涼子（リプレ中京女大）、▼61kg級 星川君枝（ユニマット）、▼65kg級 清水真理子（群馬・富岡東高）、▼70kg級 浦野弥生（京樽）、▼75kg級 船越光子（栃木・壬生高）、▼75kg以上級 三宅由美（リプレ中京女大）

◇全国中学生選手権（6月13～14日、茨城・茨城県立スポーツセンター）

▼35kg級 鈴木猛雄（静岡・焼津大富）、▼40kg級 森岡寛至（大阪・古江台）、▼43kg級 上林浩二（愛知・西尾）、▼47kg級 太田亮介（静岡・焼津港）、▼51kg級 吉田征樹（茨城・愛宕）、▼55kg級 野入明（千葉・野田一）、▼60kg級 大橋理秀（大阪・吹田一）、▼65kg級 坂井敏行（岐阜・羽島）、▼70kg級 浜崎哲治（島根・松江二）、▼76kg級 松本慎吾（愛媛・津島）、▼83kg級 伊調寿行（青森・八戸長者）、▼95kg級 高倉洋一郎（群馬・尾島）

◇全日本社会人選手権（6月20～21日、秋田・飯田川町小）

《団体戦》▼実業団 ユニマットA、▼クラブ 香川クラブ

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 若松正（ヤマサン）、▼52kg級 清水一成（山形ク）、▼57kg級 佐藤満（日本体育会）、▼62kg級 藤田隆和（徳島県教委）、▼68kg級

級 勝龍三郎（香川ク）、▼74kg級 太田拓弥（日体大助手）、▼82kg級 角崎朋博（山形ク）、▼90kg級 大村達哉（長崎・島原高教）、▼100kg級 浅沼俊幸（自衛隊）、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 加藤欣央（石川県協会）、▼52kg級 清水光二（山形ク）、▼57kg級 西見健吉（自衛隊）、▼62kg級 出口泰三（和歌山ク）、▼68kg級 吉田実（自衛隊）、▼74kg級 植村久弥（鳥羽ク）、▼82kg級 向井孝博（ヤマサン）、▼90kg級 東出徹（奈良・高取高教）、▼100kg級 山口孝二（自衛隊）、▼130kg級 奈良英則（警視庁）

#### ◇インターハイ（8月7～10日、宮崎・日南市総合体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（3年連続6度目）、[2] 秋田・秋田商、[3] 岐阜・岐阜工、鹿児島・鹿児島商工

《個人優勝》▼46kg級 戸井田昌教（茨城・霞ヶ浦）、▼50kg級 杉尾和雅（宮崎・宮崎日大）、▼54kg級 田南部力（北海道・岩見沢農）、▼58kg級 栗田弘明（栃木・足利工大付）、▼63kg級 谷山祐治（鹿児島・鹿児島商工）、▼68kg級 織山昭仁（秋田・秋田商）、▼74kg級 山口幸信（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 室谷正憲（和歌山・和歌山東）

#### ◇全国高校生グレコローマン選手権（8月19～21日、徳島・池田町総合体育館、貞光中、穴吹町スポーツセンター）

《優勝者》▼46kg級 仙道肇（岐阜・岐阜工）、▼50kg級 三榊邦明（茨城・霞ヶ浦）、▼54kg級 日浦博幸（徳島・穴吹）、▼58kg級 堀清二（茨城・霞ヶ浦）、▼63kg級 大西一也（徳島・穴吹）、▼68kg級 高橋謙治（群馬・関東学園）、▼74kg級 小室一真（茨城・霞ヶ浦）、▼81kg級 佐藤亘（徳島・貞光工）、▼87kg級 梁田紀幸（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 篠崎正二（茨城・霞ヶ浦）

#### ◇全日本学生選手権（8月27～30日、愛知・名商大）

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 佐伯豊（日大）、▼52kg級 窪木浩（明大）、▼57kg級 矢山裕明（日体大）、▼62kg級 中石義洋（日体大）、▼68kg級 小柴健二（日体大）、▼74kg級 荻田剛志（早大）、▼82kg級 横山秀和（日体大）、▼90kg級 岩瀬利則（国士舘大）、▼100kg級 藤田和之（日大）、▼130kg級 茂野充宏（国士舘大）

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 嘉戸洋（国士舘大）、▼52kg級 河合亨（日体大）、▼57kg級 藤本雅志（日体大）、▼62kg級 栗本秀樹（日体大）、▼68kg級 宮

本健二（日体大）、▼74kg級 片山貴光（日体大）、▼82kg級 横山秀和（日体大）、▼90kg級 吉田幸司（日体大）、▼100kg級 梅田誠幸（東海大）、▼130kg級 茂野充宏（国士館大）

**◇全日本学生王座決定戦（9月10～11日、東京・駒沢屋内球技場）=団体戦の勝ち点方式**

《順位》[1] 日体大（3年連続12度目）、[2] 日大、[3] 国士館大

**◇国民体育大会（10月5～8日、山形・山形商高）**

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg級 山下忍（香川・県スポーツ財団）、▼52kg級 坂木勇夫（長崎・県警）、▼57kg級 金浜良（山形・ユニマツト）、▼62kg級 奥山恵二（山形・山形南高）、▼68kg級 吉本収（広島・ヤマサン）、▼74kg級 原喜彦（新潟・新潟北高教）、▼82kg級 角崎朋博（山形・東根工高教）、▼90kg級 伊藤敦（京都・府体協）、▼100kg級 浅沼俊幸（埼玉・自衛隊）、▼130kg級 小幡弘之（東京・警視庁）

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg級 加藤欣央（石川・七尾教育事務所）、▼52kg級 中森昭平（東京・警視庁）、▼57kg級 尾白賢治（和歌山・日体大）、▼62kg級 栗本秀樹（愛媛・日体大）、▼68kg級 木村好男（東京・警視庁）、▼74kg級 三宅靖志（神奈川・東海商船）、▼82kg級 小林希（群馬・館林高教）、▼90kg級 東出徹（奈良・高取高教）、▼100kg級 野々村孝（香川・スポーツ財団）、▼130kg級 鈴木賢一（千葉・読売千葉広告社）

《少年フリースタイル優勝者》▼46kg級 戸井田昌教（茨城・霞ヶ浦）、▼50kg級 南太士郎（茨城・霞ヶ浦）、▼54kg級 寺尾将幸（東京・京北）、▼58kg級 栗田弘明（栃木・足利工大付）、▼63kg級 伊東克佳（茨城・霞ヶ浦）、▼68kg級 織山昭人（秋田・秋田商）、▼74kg級 山口幸信（茨城・霞ヶ浦）、▼81kg級 高橋善孝（青森・八戸工大一）、▼88kg級 小菅裕司（静岡・沼津学園）、▼115kg級 室谷正憲（和歌山・和歌山東）

《少年グレコローマン優勝者》▼46kg級 仙道肇（岐阜・岐阜工）、▼50kg級 工藤慎也（山梨・韮崎工）、▼54kg級 寺本良輔（三重・松阪工）、▼58kg級 堀清二（茨城・霞ヶ浦）、▼63kg級 大西一也（徳島・穴吹）、▼68kg級 高橋謙治（群馬・関東学園）、▼74kg級 渡辺哲朗（千葉・）、▼81kg級 佐藤亘（徳島・貞光工）、▼88kg級 梁田紀幸（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 篠崎正二（茨城・霞ヶ浦）

**◇全日本大学グレコローマン選手権（10月14～15日、東京・駒沢体育館）**



《優勝者》▼48kg級 嘉戸洋（国士舘大）、▼52kg級 河合亨（日体大）、▼57kg級 藤本雅志（日体大）、▼62kg級 谷山康隆（国士舘大）、▼68kg級 和田貴広（国士舘大）、▼74kg級 矢部賢二（日体大）、▼82kg級 横山秀和（日体大）、▼90kg級 岩渕利則（国士舘大）、▼100kg級 鈴木文雄（山梨学院大）、▼130kg級 茂野充宏（国士舘大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（4年連続4度目）、[2] 国士舘大、[3] 山梨学院大

**◇西日本学生選手権（10月23～25日、大阪・堺市金岡公園体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 町井孝（徳山大）、▼52kg級 酒井徹治（福岡大）、▼57kg級 西岡健（南九州大）、▼62kg級 佐藤勝彦（徳山大）、▼68kg級 奥田真二（同志社大）、▼74kg級 高田和拓（徳山大）、▼82kg級 川村嘉裕（同志社大）、▼90kg級 山元直樹（福岡大）、▼130kg級 野寄賢治（近大）

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 山端慎也（同志社大）、▼52kg級 酒井徹治（福岡大）、▼57kg級 請川佳記（福岡大）、▼62kg級 佐藤勝彦（徳山大）、▼68kg級 成瀬実（桃山学院大）、▼74kg級 高田和拓（徳山大）、▼82kg級 中田浩司（徳山大）、▼90kg級 山元直樹（福岡大）、▼130kg級 野寄賢治（近大）

**◇全国社会人オープン選手権（11月14～15日、神奈川・横浜市消防訓練センター）**

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 葛西正人（青森クラブ）、▼52kg級 藤村和人（中松水産）、▼57kg級 藤谷務（大東大クラブ）、▼62kg級 栄和人（京樽クラブ）、▼68kg級 泉保久（少年工科学校）、▼74kg級 長井保幸（東海クラブ）、▼82kg級 高木博章（西神そごう）、▼90kg級 木川秀隆（国際証券）、▼100kg級 水橋徹（千葉県協会）、▼130kg級 雅楽川欣一（クリナップ）

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級＝出場なし、▼52kg級 野竹充孝（鹿児島県協会）、▼57kg級 内浩二（自衛隊）、▼62kg級 花原大介（警視庁）、▼68kg級 永石久（山梨クラブ）、▼74kg級 杉浦貴（自衛隊）、▼82kg級 佐々木秀幸（香川クラブ）、▼90kg級 木下英規（自衛隊）、▼100kg級 佐々木伸（ヤマサン）、▼130kg級 神子沢健一（自衛隊）

**◇全日本大学選手権（11月18～19日、東京・夢の島体育館）**

《優勝者》▼48kg級 佐伯豊（日大）、▼52kg級 佐藤公一（日体大）、▼57kg級 入江隆（国士舘大）、▼62kg級 和田貴広（国士舘大）、▼68kg級 小柴健二（日体大）、▼74kg級 中島智彦（中大）、▼82kg級 横山秀和（日体大）、▼90kg級 岩渕利則（国士舘大）、▼100kg級 藤田和之（日大）、▼130kg級 浜上稔（日体大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（2年ぶり14度目）、[2] 国士舘大、[3] 日大

**◇全日本女子オープン選手権（11月22日、愛知・常滑市民体育館）**

《優勝者》▼44kg級 小池佐知枝（群馬・関東学園高）、▼47kg級 吉村祥子（スポーツ東急）、▼50kg級 遠藤美子（東洋大職）、▼53kg級 川崎明美（自衛隊）、▼57kg級 坂本涼子（リプレ中京女大）、▼61kg級 清水真理子（群馬・富岡東高）、▼65kg級 黒川真由美（自衛隊）、▼70kg級 浦野弥生（京樽）、▼75kg級＝出場なし、▼75kg以上級 三宅由美（リプレ中京女大）

**◇西日本学生秋季リーグ戦（11月28～29日、大阪・大阪府立体育会館第2体育館）**

《順位》[1] 徳山大（17季ぶり6度目）、[2] 福岡大、[3] 同志社大、[4] 近大、[5] 桃山学院大、[6] 南九州大

**◇東日本学生秋季新人戦（12月10～12日、東京・駒沢屋内球技場）**

《男子フリースタイル優勝者》▼48kg級 中村吉元（日体大）、▼52kg級 田村茂一（日大）、▼57kg級 木沢美幸（東洋大）、▼62kg級 佐藤公一（日体大）、▼68kg級 天谷満博（早大）、▼74kg級 川畑仁（日体大）、▼82kg級 福田雅一（日大）、▼90kg級 菅原文太（大東大）、▼100kg級 吉田幸司（日体大）、▼130kg級 高柳雄志（中大）

《男子グレコローマン優勝者》▼48kg級 田中紀好（国士舘大）、▼52kg級 小高浩二（山梨学院大）、▼57kg級 高橋朋夫（中大）、▼62kg級 米田哲也（日体大）、▼68kg級 高橋明善（日体大）、▼74kg級 川畑仁（日体大）、▼82kg級 高木章夫（日体大）、▼90kg級 菅原文太（大東大）、▼100kg級 吉田幸司（日体大）、▼130kg級 滝口徹（国士舘大）

**◇全日本寝技選手権（12月23日、東京・スポーツ会館）**

※3スタイル25試合のワンマッチを実施＝成績省略